



テクニカル・メッセージ

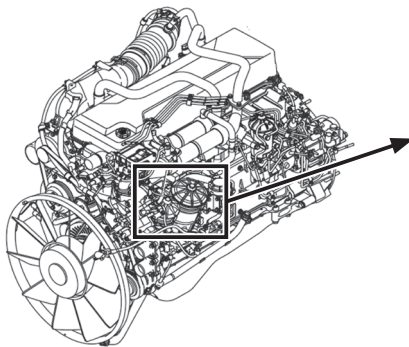
オイルフィルタの交換時は堆積したスラッジも取り除いてください

エンジンの稼働に伴い、エンジンオイル内に少しずつスラッジが発生しますが、交換時期を過ぎたエンジンオイルを長期間使い続けると、スラッジの発生量が増加しエンジン内部、特にオイルフィルタケース内に堆積することがあります。オイルフィルタのエレメントを交換する際は、フィルタケース内に堆積したスラッジも取り除かないと、エンジン内部の油路にスラッジが詰まり、エンジンの焼き付きや破損のおそれがあります。

スラッジが堆積している場合は、フィルタケースの洗浄も併せて実施していただけるようお願い致します。

■ 対象車両

大型トラック、バス E13Cエンジン搭載車

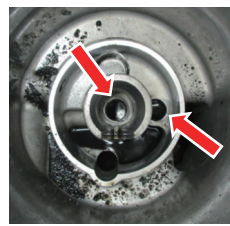


オイルフィルタケース内に
スラッジが堆積した状態

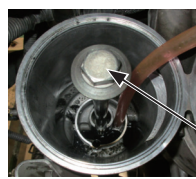


堆積したスラッジが原因で
ピストンが焼き付く可能性あり

■ オイルフィルタケース内の洗浄方法について



<推奨の塞ぎ方>



φ 14ホース
ホースは底付け
するまで挿入
蓋つきボルト

手順1

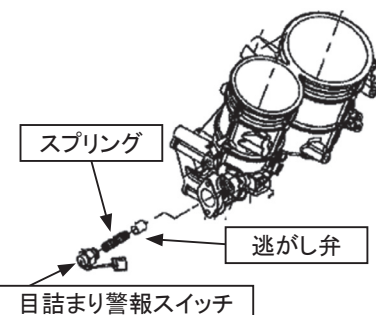
図中矢印部の穴を塞いでください
(エンジン内部への異物混入防止のため)

手順2

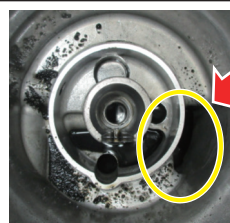
目詰まり警報スイッチを外してください。

<注意>

取り外し時にはスプリング、逃がし弁が
脱落しないよう注意してください。
(スプリング、逃がし弁は別体で組み付け)



スイッチの固定ボルト



左図○部と目詰まり警報スイッチ
取り付け穴が繋がっていますので
○部付近を集中的に洗浄して
ください

手順3

フィルタケース内部を洗浄液で洗浄し、スラッジ
を目詰まりスイッチ取り付け穴から排出して
ください。

排出が終わったら目詰まりスイッチを取り付けて
ください。(締め付けトルク：29N・m)